

SHIGAM
&
M A

Recital della scena Vol.3

石上朋美 & 今井俊輔

Tomomi Ishigami: soprano & Shunsuke Imai: baritone

デュオリサイタル

ピアノ

Satoko Tada: piano

多田聡子

❖

後援

イタリア文化会館

後援・マネジメント

公益財団法人東京二期会

G. Verdi

Macbetti

1847 e 1865

二つのマクベス、
二人のマクベス

Program

G.ヴェルディ

歌劇『マクベス』

初版《1847年フィレンツェ》より

❖

G.ヴェルディ

歌劇『マクベス』

改訂版《1865年パリ》より

2015年

1月25日[日]

14時開演 13時30分開場

銀座 王子ホール

Ticket

全指定席 5,000円

問い合わせ・チケット取扱い

二期会チケットセンター 03-3796-1831

チケット取扱い

王子ホールチケットセンター 03-3567-9990





Recital della scena Vol.3

石上朋美&今井俊輔

Tomomi Ishigami: soprano & Shunsuke Imai: baritone

デュオリサイタル

昨年に引き続き、いよいよシリーズとして定着しつつあるI&Iのデュオリサイタル。第1弾『ヴェルディに感謝を込めて』、第2弾『歌曲に伝わるイタリアから日本へ』と続き、第3弾の今回は、I&I結成のきっかけにもなった二期会オペラ『マクベス』に想いを込め、また初心に立ち返る意味も含め『二つのマクベス、二人のマクベス』と題してお届けします。公演から2年が経過し、それぞれの声に、技術に、そして演技にも、さらに磨きがかかり、深みと味わいが増したI&Iのマクベス夫妻をお聴きください。また、今回は作曲家G.ヴェルディがシェイクスピアのマクベスを手にし、最初に創り上げた音楽、いわば"初演版"『マクベス』も織り交ぜお送りします。ヴェルディが最初に描いた音楽の中にあるマクベス夫妻像、そしてさらにそれを改訂し、第2版を出版するに至った背景なども紐解いていきながら、初演版だけに存在する楽曲や、改訂版にだけ存在する楽曲も抜粋し、ヴェルディの描きたかった真のマクベス夫妻に迫ります。2年ぶりのI&Iのマクベス夫妻、なかなかお聴きいただけないイタリア直輸入の初演版、そしてさらに息の合ったI&I公演第3弾! 今回は銀座・王子ホールでマクベス一色になる瞬間を、どうぞお見逃しなく!



石上朋美

Tomomi Ishigami: soprano

東京芸術大学音楽学部声楽科首席卒業、第10回松田トシ賞を受賞、新卒業生紹介演奏会出演。同大学大学院修士課程オペラ科修了。第40回日伊声楽コンクール第2位および歌曲賞、イタリアにて第10回オペラ国際コンクール第2位同時にマンチネリ歌劇場におけるデビュー権を獲得など多数受賞し、同劇場にて『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ラ・ボエーム』ミミ、『修道女アンジェリカ』タイトルロールなど3年連続出演。'08年より文化庁海外派遣研修員、野村文化財団芸術文化奨学生としてイタリア・ジェノヴァ、トリノに留学、数々のシーズンオペラのオーディションに合格し、『蝶々夫人』タイトルロール、『カルメン』ミカエラなど、イタリアでの活躍が目覚ましい。'10年はフィレンツェにて『トスカ』タイトルロール、ペスカーラ野外劇場『蝶々夫人』タイトルロールに出演。'11年2月にはフィレンツェにて『蝶々夫人』タイトルロールに出演。'13年5月二期会オペラ『マクベス』(P.コンヴィチユニー演出)マクベス夫人に出演。国立音楽大学非常勤講師。二期会会員



今井俊輔

Shunsuke Imai: baritone

東京芸術大学音楽学部声楽科首席卒業、同大学大学院修了。第19回松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞を受賞。同声会新人演奏会、読売新人演奏会出演。また、卒業時の成績により皇居内の桃華楽堂にて御前演奏を行う。日伊声楽コンクール二位受賞、記念演奏会出演(指揮:現田茂夫、サントリーホール)近年の出演オペラ作品として『マクベス』タイトルロール(指揮:菊池彦典)、『カルメン』エスカミーリオ(指揮:宮松重紀)、その他出演オペラレパートリーとして『ジャンニ・スキッキ』タイトルロール、『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、『カヴァレリア・ルスティカーナ』アルフィオ、『道化師』トニオ、『アドリアーナ・ルクヴール』ミシヨネ、『ラ・ボエーム』マルチェッロなどがある。またコンサートにおいては「メサイア」、「第九」等のソリストとして活躍している。'13年5月二期会オペラ『マクベス』(P.コンヴィチユニー演出)タイトルロールで出演。二期会会員